

■年次主任の独り言■

「君の臍臓をたべたい」という小説をご存じだろうか。先日テレビで映画が放映された（個人的には演出に問題ありと思っているが）ので、見た人もあるかもしれない。その中の一節を次に示す。

「彼女が死んだ。甘えていた。この期に及んで僕はまだ甘えていた。彼女に残された一年という時間に甘えていた。ひょっとすると彼女ですら、そうだったかもしれない。少なくとも僕は、誰しもの明日が保証されていないという事実をはきちがえていた。僕は、残り時間の少ない彼女には明日があるものだと思っていた。まだ時間のある僕の明日は分からないけれど、もう時間のない彼女の明日は約束されていると思っていた。なんて馬鹿げた理屈だ。僕は、残り少ない彼女の命だけは世界が甘やかしてくれると信じ切っていた。もちろん、そんなことはない。なかった。世界は、差別しない。まるで健康体の僕のような人間にも、病を患ったもうすぐ死んでしまうような彼女にも平等に攻撃の手を緩めない。僕らは間違えた。馬鹿だった。」（「君の臍臓をたべたい」住野よる より）

いつも独りぼちでいる孤独で暗めの主人公の男子高校生が、ひょんなことからクラスでも人気のある明るい女子高校生が難病（臍臓の病）であることを知ってしまい、そこから始まる二人の交流を通して主人公が変わっていく物語である。彼女は余命一年を宣告され、入退院を繰り返している。死期が迫ってきたあるとき、一時退院を許され、喜び勇んで待ち合わせの場所に急ぐ彼女は、通り魔に刺殺されてしまう。

読んでいてびっくりした。まさかこんな結末だとは予想だにできなかった。その意味では、上にあげた小説の一節と同じである。私たちは「明日がある、明日は必ずやって来る」と思い込んでいて、そのことに何の疑問も感じず生きている。しかし、本当は今日何が起こるか（縁起でもないが、今日事故に遭って死ぬかもしれない）は分からない。つまり、未来は誰にも保証されていないのである。そのことを考えると、一日一日を、一瞬一瞬を大切に生きていかなければいけない。今日できることは今日やるのが大切。そんなふうになってしまう。

そうは言っても、世の中は将来を見据えて動いている。「今日一日を無事に生きながらえればそれでよし」では、今の生活は続けていけない。我々は将来のために学び、努力をしているのである。未来に夢を抱き、そうなるために必要な勉強をし、資格を取り、道を切り拓いていく。進学や就職もその過程の一つである。

君たちには1年後に**就職試験・入学試験**という大きな関門が迫ってきている。今年の3年生にとっては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で入学試験に変更が加わったり、就職試験の日程が1ヶ月遅くなったりと、大変な年となった。来年はどうなるか分からないが、状況は似たようなものではないかと予想している。高卒求人数は減少し、就職競争率は上昇する。簡単に言えば、就職内定が貰いにくくなる。場合によっては、内定を貰っても突然「内定取り消し」なんてことも起こる可能性がある。それほど厳しい状況なのである。そうなると、就職希望者が専門学校や大学進学に希望を変更する者も増加し、入試の競争倍率も上昇する。大学入試もシステムの変更があり、それに対応することが求められる。そのような状況の中で君たちは「人生の関門」を迎えるのである。今からしっかりと対策して欲しい。「あと一年しかない」のである。



未来は誰にも分からない。自分の将来は、自分で思い描いて進んでいくしかない。一日一日を、一瞬一瞬を大切に生きる。今やるべきことを全力で取り組む。このことが将来を切り拓いていく**最大かつ唯一の力**となる。「今やりたいことをやる」ではない。将来を考え、それを実現すべく全力で努力する。残念ながら思ったようにはならないこともあるだろうが、全力で取り組んだことは、自分の力（財産）となり、別の道へと導いてくれる。力のない者には望んでいる道は拓かれない。君の今やるべきことは何か？友達と遊び回ることか、化粧をしまくって嘘の自分を飾り立てることか、SNSで誰かを攻撃することか、ネットゲームで夜更かしをすることか…。そこに**未来はあるのか？**

●進路について勉強しよう●

進路指導部長 奥田 政治 先生

◆感情の技術

容易に多くの情報を手に入れられる、情報化社会と呼ばれて久しい。情報の多さが正確な判断や行動を促すのだろうか。人の行動を促すものは何か。決して理性や知性だけではない。理性や知性は効率を求めるもの。最後に自分自身の行動を決めるのは性格である。

判断停止状態のまま他者に流されることも危険だが、判断だけして行動できない・しないのは判断していないことと同義だろう。「そんなことはない、ためらい・とまどい・まよい etc.いろいろ考えています」という意見もあろうがともかく、行動することを支えているのはそれぞれの「性格」やそこから生まれる「感情」なのだ。

「感情の技術」がある。スキルトレーニングといえれば何か具体的な「技術」を習得するように思うけれど、感情のような内面的で個人的なものについても技術があるという。詳しくは図書館へどうぞ。

「感情を育てるもの」は何か。それは他者との交わり。対立も含んだ自分以外のだれか、または何かとの交わり・交際・コミュニケーションを通じて感情豊かになってゆく。

「狼に育てられた少女」を知っているだろうか。眉唾ものであるらしいが、人の人らしい感情の発露の仕方や、感じ方は先天的なものではなく、後天的なものであるということが分かる。青春時代は激動だ。自分とは違うさまざまな人との出会いは時に苦しみや悲しみも伴うけれど、勇氣と信念があれば前にすすめる。

♥[ペンリレー]先生からのメッセージ♥

2年3組副担任 村田 知大 先生

台風が多く発生する時期になりました。なぜ台風が発生するか知っていますか。簡単に説明すると、温められた海水が蒸発し、上空で冷やされた雲が発達していき、風を生んで渦になる、これが台風の発生する仕組みです。ざっくりとした説明でしたが、もっと調べると面白いことがわかってきます。なぜ北半球と南半球での台風の回転方向が違うのか、なぜ夏から秋にかけてよく発生するのか、なぜ日本を通り過ぎたあたりから弱まるのか、など、台風一つにしても「なぜ？」と感ずることが多くあります。この「なぜ？」を調べることが学習であり勉強です。普段の授業や生活でも「なぜ？」と感ずることがあると思います。自分で調べて理解していくことが大切です。ぜひ、興味を持ったことから良いので調べてみましょう。いろいろな発見があり、世界が広がっていくと思います。



★10・11月の行事予定

10月		11月	
1	木	外部講師(3年スポーツV 3・4限、3年生活文化 6限)	1 日
2	金	後期クラス役員選出LHR(2年) 実用英検(放課後)	2 月
3	土		3 火
4	日		4 水
5	月	就職試験応募書類提出 外部講師(数学総合探究 5・6限)	5 木
6	火	外部講師(課題探究因州和紙 6・7限)	6 金
7	水		7 土
8	木	1年次科目選択説明会(6・7限) 外部講師(3年スポーツV 3・4限、3年リビングデザイン 3・4限、3年生活文化 6限)	8 日
9	金	鳥取看護大学・鳥取短期大学訪問(1年 4限~16:00) 蒜山高原センターへのバス旅行(2年)	9 月
10	土	授業日(月曜の授業2限まで) 中学生体験入学	10 火
11	日		11 水
12	月	10月10日(土)の振替休日	12 木
13	火	外部講師(1年科学と人間生活 1限3組・2限1組・3限2組、2年スポーツV 3・4限、課題探究因州和紙 6・7限)	13 金
14	水	校外学習(青谷学A班・C班) 就職者激励会(放課後 多目的室)	14 土
15	木	外部講師(3年スポーツV 3・4限、3年フラワーデザイン 3・4限、3年リビングデザイン 3・4限、3年生活文化 6限)	15 日
16	金	就職試験開始 主権者教育(2年 6限) 記述模試(3年)	16 月
17	土	記述模試(3年)	17 火
18	日		18 水
19	月		19 木
20	火	hyper-QU検査 1・2限のみ40分授業 ビーチクリーン活動(2年スポーツV 3・4限) 外部講師(課題探究因州和紙 6・7限)	20 金
21	水	外部講師(青谷学C班 6限)	21 土
22	木	ビーチクリーン活動(3年スポーツV 3・4限) 外部講師(3年リビングデザイン 3・4限、3年生活文化 6限)	22 日
23	金	人権教育講演会	23 月
24	土		24 火
25	日		25 水
26	月	避難訓練	26 木
27	火	ビーチクリーン活動予備日(2年スポーツV 3・4限)	27 金
28	水	頭髪服装指導	28 土
29	木	鳥取市企業見学会(1年 終日) ビーチクリーン活動予備日(3年スポーツV 3・4限)	29 日
30	金	あおこうまるしえ(3年 3~7限 道の駅西いなば気楽里) 大学入学共通テスト模試(3年)	30 月
31	土	総合学カテスト(1・2年) 大学入学共通テスト模試(3年)	